

「世界食料デー」月間 2025 公式チラシの解説（先生・ファシリテーター用）

●チラシのねらい：

- 世界の食料問題・飢餓と、日本にいる私たちの暮らしがつながっていることを知る。
- 飢餓はさまざまな原因によって引き起こされていることを知る。

●解説：

※チラシを使って説明する際の順序は自由です。以下はあくまでも提案や参考資料です。

おもて面：



● 「世界食料デー」月間って？

チラシの右側上部にある説明を参照する。

詳しくは：<https://worldfoodday-japan.net/about/>

世界食料デー（10/16）は、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が創設された日で、「世界の食料問題を考える日」として1981年に国連により定められた。

● 飢餓とは？

日常的な食習慣から、活動的かつ健康的な生活を維持するために必要な食事エネルギー量を十分に取れていない状態を栄養不足といい、慢性的な栄養不足を飢餓という。なお、紛争や災害で起きる「飢饉（ききん）」は、その地域内で餓死者が出ている最悪の状態の飢餓を指す。

慢性的な栄養不足について：<https://www.fao.org/japan/highlights/sofi/jp>

飢饉について：<https://ja.wfp.org/stories/5-steps-food-security-famine>

● うら面につながる問いかけ

栄養不足人口（もしくは飢餓人口）に触れたあと、「世界に飢餓の人がいるのは、世界で作られる食べ物の量が、世界人口に対して不足しているからでしょうか？それとも、十分に作られていても、飢餓の人がいるのでしょうか？」と問いかける。

うら面：



- おもて面でした問いかけの回答と、さらなる問いかけと解説

おもて面での問いかけの回答として、上部の「食べ物は十分に作られている世界～」の文章を確認。さらに、「すべての人が食べられないのはなぜ？」と問いかけながら、ピンク背景のインフォグラフィックスの右上（日本の自給率）から時計回りに、日本に暮らす私たちと世界の食料問題や飢餓問題のつながりを見ていく。

世界の食料問題：<https://worldfoodday-japan.net/world/>

- 私たちと世界の食料問題のつながり

海外から食べ物を輸入しているのにも関わらず、その3分の1も捨てているということは、多くの資源を無駄にすること。輸入した食べ物には、水、土地、肥料、燃料、労働力などの有限な資源がすでに使われている。また、生産・加工・輸送・消費、そして廃棄のために大量の温室効果ガスが排出される。気候変動は、温暖化だけでなく異常気象（干ばつ・洪水など）を引き起こし、特に雨水に頼る途上国の小規模農家に大きな影響を与える。これは、農業をしても十分な収穫が得られずに飢餓に陥る原因にもなっている。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/world/>（特に「フードロス、何が問題？」から下の項目）

- 世界の飢餓の主要原因は？

2020年以降、栄養不足（飢餓）にある人は急増し、コロナ禍が明けても、高止まりしている。その原因と言われているのは、紛争、気候変動による異常気象、経済の低迷、貧困と格差、そしてウクライナ戦争などによる物流の停止・食料価格の高騰など。

詳細：<https://www.fao.org/japan/news/detail/sofi2025-pr/jp>（国連 FAO）

- うら面・右端：「調べて・考えてみよう！」の進め方

- ① 加工食品や野菜・肉・魚などの産地を確認してみると、日本の各地域や、海外から多くの食料が届いていることがわかる。世界に想いを馳せるきっかけとして、導入に使って欲しい。
- ② 答えは、「全て」。ただし、食料生産の方法によっても必要なものは異なります。
- ③ ②のヒントにあるように、植物であれば光合成のために水・二酸化炭素・太陽光が、そして土・肥料・淡水も必要だし、家畜を飼うには餌・飼料が不可欠。農業用機材や輸送には石油が欠かせない。地球は水の惑星と言われるが、海水で農業・畜産業はできないので、淡水が必要だ。一方で海産物が生息するためには海水も必要、ということで、選択項目は水となっている。労働力も、日本の農業人口減少からもわかるように必須だが、途上国を含めて世界的に都市化（農村から都市への人口移動）が進んでおり課題だ。

光合成に必要なことから、食料生産において二酸化炭素は完全な「悪」ではない。ただし、気候変動の原因になっており、異常気象によって農業にも悪影響が出ている。加えて、食料分野も温室効果ガス（二酸化炭素やメタンなど）の排出源であり、持続可能な食料生産・供給が必要といわれている。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/world/>

- + α 自分たちにできることを考えてみる

世界の今を知ったら、ぜひこれから自分たちにできることを考えてみてほしい。

参照：<https://worldfoodday-japan.net/join/interviews/>（行動している人のインタビュー集）

最終更新日：2025 年 8 月 7 日